

# Fons Sapientiae

仙台白百合女子大学図書館報 フォンス サピエンティアエ



Information  
de la Bibliothèque  
de l' Université SENDAI SHIRAYURI

No. 9  
2010.11.1

## ◆ Contents

- 1 ゆずり合い、ゆるし合って、仲よく。
- 2 推薦図書
- 3 利用者の声
- 4 図書館からの情報
- 5 図書館会議・研修会等の情報
- 5 図書館利用状況
- 6 新着図書の紹介
- 7 図書館雑感⑧
- 8 編集後記



## ゆずり合い、ゆるし合って、仲良く

仙台白百合女子大学図書館長 太田 将勝

図書館のしごとは地味ではありますが、大学の研究・教育を陰で支える重要な意義があるようです。学内外の皆さま方の意向を伺いながら、集書や種々の活動により充実したものを目指したいと思います。

10数年前、私は服務先の国立大学の附属幼稚園長に選出されたことがありました。それ以前に、機関や団体というもの、部内のメンバーの仲が良いと、グループとしての成果・実績が爆発的に上がるということを経験し、いつの間にかそれが信念になっていました。もし、自分が機関を預かるようなことがあるなら、全員の協力を得ながら、実験的に、職員が徹底して、仲良くしてみたらどうなるだろうかと考えたことがありました。時の学長や園職員の思いをたずねつつ、全員が仲良く安心して仕事に取り組めるよう皆で工夫することにいたしました。

幼稚園内は、専任・非常勤の教職員10数人に養護教諭や事務長がおりましたが、以下のようなことを折々談話のなかで、職員たちに話し協力を仰ぎました。

「私たちの職場をお互いにとって快いものにしてゆきたいと思います。職場に行くのが楽しみと思えるような快適な場を皆で創造したいもので

す。元気のない人、悩みや迷いのある人を皆で励まし元気づけ合い、ともども日々の仕事に精励したいものです。ことばには、〈言霊〉があります。お互いを肯定し賞賛し合う、陽性な言葉をなげかけ合っていると、全体の流れがスムーズに展開するという真理があります。」

教職員相互、こうしたことを話題にしてゆく過程で、園全体の空気がなごやかになり、何でも話し合える温かい空気が園内にただようようになりました。2年も経たぬうちには、財務や経営に係る園の成果は確実に改善向上していったように思われます。

教育とは、知識・見識を深める過程で、他人に対する謙虚さ・丁寧さ・きめ細やかな配慮を学ぶことだといわれています。職員同士が真に仲良くなるのが、機関としての安定した成果につながり、全員の幸せにもつながるものようです。これを立証するのは至難ですが、日常このことを実感しながら職場の仲間たちと過ごせたことは幸せでした。

本学の図書館においても、全職員が仲良く、安心して職務に精励できる環境づくりにつとめたいものと思います。

## この子を残して／永井隆 著 中央出版

総合福祉学科  
吉田輝美

「花をつくらば、白百合に限る」

最近、テレビや新聞などで実の親が我が子を虐待死するなどの報道が多くなっている。虐待する親の生活状況は様々であるが、これ程までに豊かになった日本社会において、児童虐待が増加の一途であることは残念でたまらない。

さて、本書は、医学博士である永井氏自身の闘病記であり、永井氏の二人の我が子への遺言書でもある。そして、哲学的な死生観としてのメッセージが含まれている。

永井博士が生きた時代は戦争の真つただ中である。博士は長崎医大で放射線医学の教鞭をとり忙殺された研究の日々の結果、博士自身が放射線により被曝し慢性骨髄性白血病となり、併せて昭和20年8月9日の長崎の原爆による被曝で余命宣告を受けてしまうのである。また博士は、同じ長崎の原爆で妻を亡くし、二人の幼子を抱え、不自由な暮らしを余儀なくされていた。その博士が病床でいつも思い悩むことは、「自分が死んだときには、孤児とな

る幼子はどこで何をして生きていくのか。」ということである。社会が孤児の真の幸福をどのように保証できるのだろうか。虚偽の幸福を強いて与えようとするものが、社会一般であるのかもしれない。そのことが、いかに軽率で、残酷なことであるかと永井博士は説く。

人は死んでから神から審判を受け、その一人ひとりが与えられた能力を十分に働かせる職業を選んだかどうかなどが調べられるのだという。与えられた才能を充分発揮しているかどうかによって、人間の価値が決まるとされており、永井博士は、孤児予定者の我が子がへ神の教えを遺している。

本書は、父性の中にある母性を描き出している。私が、本書を初めて手にしたのは大学2年生であった。父性とは厳しさであるというイメージを持っていた私に、父性の中の母性という新たな学びを与えてくれたのである。とにかく難しいことを考えずに、人間の温かさや、父親の愛情に触れて欲しいという思いから、一読をお勧めしたい。

## 「伝える力」／池上彰 著 PHPビジネス新書

入試広報課  
菅原 茂

私はこの本を自分の仕事に役立つものと思って手にしました。仕事上のさまざまな場面で「伝える力」が求められます。特に私の場合は入試広報業務が職務ですので、高校生に進路説明会や進学相談会で本学のPRをしたり、質問に答えたり、また、高校訪問では進路指導の先生と直接会話するなど「伝える力」がそのまま問われる場面が多くあります。そんな日々の中で、自分の思いを相手に伝えることの難しさを痛感しています。

著者の池上彰氏は、NHKで現在も放映されている「週刊こどもニュース」に長年携わった方です。こ

の本は、その苦労してきた経験を生かし、「伝える力」を向上させるためにはどうしたらいいのかを、事例を交えながらわかりやすく教えてくれています。

ビジネスマン向けの書籍ですが、学生の皆さんにとっても普段の講義、ゼミ、就職活動、サークル活動、友人関係の会話の中など、キャンパスライフのいたるところで「伝える力」は必要とされることでしょう。「伝える」とは「話す」「書く」「聞く」行為、すなわち「コミュニケーション」です。コミュニケーション能力向上のためにも、ぜひ読んでみてください。

## 向日葵の咲かない夏／道尾秀介 著 新潮社

国際教養学科1年  
渡辺佳寿美

元々、あまり本を読むことが得意ではない私がおすすめる本は、道尾秀介の「向日葵の咲かない夏」という本です。この本を選んだ理由はオリコン一位という文字と、表紙の絵に引かれただけでした。そんな理由から読み始めたこの本は、いつの間にか私を夢中にさせていました。あらすじは次のとおりです。

『この本の主人公ミチオは、小学四年生の男の子。父と母、妹のミカと四人で暮らしている。母はミチオのことを嫌い、それに対して父はとても無力だった。そんな中、彼の住む町では猫や犬を殺し足を折り、口に石鹸をつめるという事件が発生していた。夏休みの前日、ミチオは担任の先生からクラスメイトのS君の家にプリントを届けるよう頼まれ、S君の家を訪ねた。そこでミチオが見たものはS君の死体だった。すぐに警察と担任が駆けつけたが、そこにはも

うすでに死体が無くなっていた。ある日、ミチオの所にS君の生まれ変わりが表れ、一緒に死体を探してほしいというS君の要望によりミチオと妹のミカ、そしてS君との三人の物語が始っていく。』

この本は死んだ人間が生まれ変わるという現象が描かれていて、読んでいてもとても不思議な気分になります。本の分類の中ではミステリー小説を読むことはあまりありませんが、最後まででははらどき感が止まらない本だと私は思います。また、ミチオが小学四年生にも関わらず、犬や猫が殺される事件やS君の死体を探すわけですが、ミチオの推理力にも感銘を受けました。是非一度、皆様にも読んで頂きたいです。

最後に、怖いものが苦手な方は、夜に読むのを避けた方がよいでしょう。

## 私と図書館

人間発達学科 大道直人

これまで私が最も図書館を利用していたのはヘブライ大学にいた1980年代である。当時は化学者として研究に明け暮れていたため、図書館で文献を読み、計算機センターでプログラミングや分子種の統計熱力学的分布計算を行うか、実験室で特殊質量分析装置を動かして実験するのが日課であった。理論計算に欠かせない統計熱力学データを図書館で探すのは本当に大変で、2、3日掛けてやっと1つ見つけ、共同研究していた教授や仲間と喜び合った日々が大変懐かし思い出される。

本学に奉職してからは専門分野が全く変わり、また、本当

に必要な図書は購入して研究室に備えることが出来るようになり、図書館システムの電子化も進んで利用形態も様変わりして、近頃図書館に足を運ぶことがめっきり減ってしまった。

しかし、3箇所に分かれていた図書室を現在の図書館の形にまとめて2006年10月に新出発した整備計画に関わった者として、なお一層電子化に取り組み、利便性を高めてさらに愛される図書館となることを願いたい。また、毎年授業で蔵書検索システムを使っているが、20人程で一斉に起動するとフリーズしてしまうことが多く、検索システム用のサーバの高機能化を進め、教育での活用の幅が一層広がることを希望したい。

## こころに潤いを取り戻せる場所

就職課 高橋教子

私が大学職員として勤務できて本当に良かったと思うことは、『職場の図書館を利用できる』という点である。私はおもに昼の休憩時間に図書館を利用している。ほんの数十分でも図書館という「静寂」のなかに身を置くと、忘れかけていたことを思い出しなんだか元気になる。私にとって図書館は、自分を見つめこころに潤いを取り戻すことのできる場所。晴れの

日も雨の日も、日々繰り返される日常のなかでほっと一息。幼い頃何度も読んだ本の言葉に大人(?)の私ははっとさせられる。『大切なものは、目に見えない。』その時手に取った本は私のこころを映す鏡。いま私はどこにいて、これからどこへ行くかとするのか。人生の学びは果てしない。今日もそんな素敵なメッセージを受け取りに、図書館へそっと立ち寄ろう。

## 図書館での時間

総合福祉学科 (1年) 草刈沙希

私は、今年の春からこの学校へ通い始めました。

初めの頃は、一号館や五号館など授業で使う場所には行っていました。図書館は行ったことがなく利用の仕方も分からないので、結局行かずじまいでした。

しかし、基礎演習の時間を使っての図書館ツアーがあり、そこで利用の仕方が分かりました。

それから、何度か足を運ぶにつれて自分が読みたい本を見つけたり、授業で分からなかったことをインターネットで調べようになりました。

図書館では、専門の本があったり、普通の小説があったり、DVDが観れたり、調べ物をしたり、勉強をしたりと、いろいろな楽しいことができます。

もちろん図書館なので、静かですが、だからこそ自分のペースで、自分の空間で様々なことができるのだと思います。

私にとって図書館とは、様々なことを自分だけの時間でできる場所であり、そして、同時に一人一人の時間をみんなで共有できる場所なのかなと思います。



# 書館利用 Q & A

図書館からの情報

## ○カウンターで今まで受けた質問をまとめてみました。

**Q 自動貸出機にいれても学生証が戻ってきます。**

A カードを裏側にして“IN”と書いてあるほうから入れて下さい。

**Q 自動貸出機で本が処理できません。**

A1 図書は、図書のジャケット自体についているバーコードではなく、“仙台白百合女子大学図書館”とえんじ色に白で入ったシールの貼ってあるバーコードを読ませて下さい。

A2 未返却の本など未処理の場合があるので、お手数ですが、カウンターへ本を持ってきてください。



**Q 実習があるので、期間内に返せません。**

A 教育実習・介護実習・臨床実習等の実習に備えて、特別貸出を行っています。大体、実習の始まる2～3週間前から受付を開始して、実習終了のほぼ1週間後に返却予定日を設定します。特別貸出の場合、自動貸出機で借りると普通の貸出になってしまいます。実習に行く学生は必ず図書館1階のカウンターに申し出て下さい。

**Q 卒論用に長く借りられますか？**

A 卒論貸出といって4年生は卒論に必要な図書を借りたいとき、普通貸出5冊の他に3冊の図書を1ヶ月間借りられるという貸出があります。1ヶ月の期限が来たときに予約等がなければ、相談の上更新も可能です。こちらも1階のカウンターで申し込んで貸出手続きを受けて下さい。

**Q 雑誌の置き場所がよくわかりません。**

A 一般的な雑誌は1階。人間発達学科・総合福祉学科に関する学術雑誌の最新分は2階。健康栄養学科・国際教養学科に関する学術雑誌の最新分は3階。学術雑誌のバックナンバーに関しては、1階奥です。

**Q 雑誌は図書館ホームページで探すことができますか？**

A ホームページ上にある“雑誌索引検索”でも“本学所蔵学術雑誌一覧”でも所蔵を探すことが出来ます。また、各階検索用パソコンの所に置いてある“仙台白百合女子大学図書館 学術雑誌リスト”でも所蔵がわかるようになっています。

**Q コピー機はコピーカードがなくても使えますか？**

A 基本的に生協で購入したコピーカードをお使い下さい。図書館で用意しているコピーカードを使って後で現金精算することも可能です。著作権法により、雑誌最新号のコピーは、次号が刊行されるか一定の期間を経てからしか出来ませんので、ご注意ください。

**Q 新聞の場所はどこですか？**

A 2階の検索用パソコン脇の新聞架に最新のものと1ヶ月分くらいまでバックナンバーが入っています。それ以外のバックナンバーは1階に置いてありますが、処分する場合がありますので、どこにあるかは図書館のスタッフにお聞き下さい。

**Q 新聞がパソコンから見られると聞いたのですが。**

A 図書館ホームページから、朝日新聞、日経新聞、河北新報の3紙が見られます。これは、学内ならどこでも利用できます。但し、日経新聞はアクセス数無制限ですが、朝日新聞と河北新報はアクセス数に制限があるので、他の人が利用していてアクセス出来ない場合もあります。少し時間を置いてからアクセスしてみてください。アクセス中と取られる場合もありますので、利用後は必ずログアウトで終了して下さい。

**Q 図書館の開館カレンダーは置いていませんか？**

A 図書館入口やカウンターに2ヶ月程度のミニ・カレンダーを置いてあります。特別な閉館等については、掲示板でもお知らせしておりますが、基本的には、図書館ホームページのカレンダーをご覧ください。

## 図書館会議・研修会等の情報

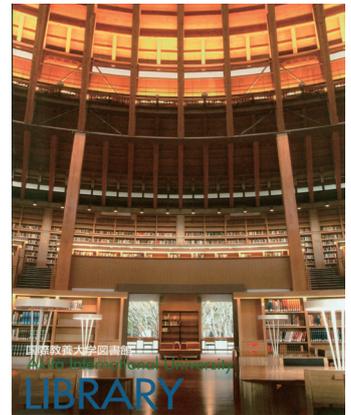
### ●第65回東北地区大学図書館協議会総会

開催日: 2010年9月16日(木)

場 所: 国際教養大学(秋田市)

東北地区大学図書館協議会とは、東北地区の国・公・私立大学図書館・短期大学図書館の集まりで、図書館運営、資料管理などにおける共通課題の解決、また、職員のスキル向上を協力、連携して実現するため、総会、研修会、研修部会、ウェブサイト運用部会等を通して活動している。

今回、総会の会場となった秋田の国際教養大学図書館は、秋田杉をふんだんに使った半円形の斬新なデザインで、日本では珍しい24時間365日開館のユニークな図書館となっている。



### ●2010年度東北地区大学図書館協議会合同研修会

開催日: 2010年7月16日(金)

場 所: 岩手県立大学

テーマ: ラーニング・コモンズについて

### ●2010年度日本カトリック大学連盟図書館協議会総会及び実務研究会

開催日: 2010年7月2日(金)

場 所: 天使大学(札幌市)

日本カトリック大学連盟図書館協議会は、日本カトリック大学連盟に所属している20校の大学図書館の集まりであり、年1回総会や実務研究会を開いて、図書館間の相互交流や情報の交換等を行っている。

今年度は総会と実務研究会を兼ねて北海道の天使大学で7月2日に開催され、「機関リポジトリの実施状況について」「ラーニングコモンズについて」「企画・広報に関する取組みについて」等意見が交わされた。

#### 図書館利用状況

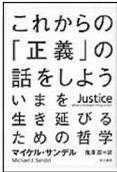
2010年4月1日～2010年9月31日

学科	専攻	人数	入館人数	学科・専攻 一人当り(回)	貸出冊数(冊)	学科・専攻 一人当り(回)	貸出人数(人)	学科・専攻 一人当り(回)	AV閲覧回数(回)	学科・専攻 一人当り(回)	AV閲覧人数(人)	学科・専攻 一人当り(回)
人間発達学科		352	2,219	6.3	818	2.3	431	1.2	222	0.6	202	0.6
総合福祉学科		246	2,157	8.8	999	4.1	519	2.1	152	0.6	126	0.5
健康栄養学科		314	2,016	6.4	818	2.6	430	1.4	80	0.3	73	0.2
	管理栄養専攻	251	1,683	6.7	690	2.7	356	1.4	51	0.2	46	0.2
	食物学専攻	63	333	5.3	128	2.0	74	1.2	29	0.5	27	0.4
国際教養学科		300	1,967	6.6	293	1.0	187	0.6	277	0.9	246	0.8
科目等履修生		4	60	15.0	8	2.0	7	1.8	0	0.0	0	0.0
専任教職員		109	722	6.6	256	2.3	122	1.1	0	0.0	0	0.0
一般利用者(非常勤等含)		-	79	-	68	-	39	-	0	-	0	-
計		1,325	9,220	7.0	3,260	2.5	1,735	1.3	731	0.6	647	0.5



## 書館から“NEWS”を続々発信!

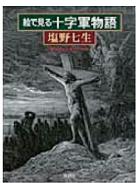
新着図書を紹介



### 「これからの「正義」の話をしていよう：いまを生き延びるための哲学」 マイケル・サンデル 著 早川書房

ある社会が公正かどうかを問うことは、われわれが大切にすることも一収入や財産、義務や権利、権力や機会、職務や栄誉—がどう分配されるかを問うことである。公正な社会ではこうした良きものが正しく分配される。つまり、一人ひとりにふさわしいものが与えられるのだ。難しい問題が起こるのは、ふさわしいものが何であり、それはなぜかを問うときである。—本文より

哲学は、机上の空論では断じてない。金融危機、経済格差、テロ、戦後補償といった、現代世界を覆う無数の困難の奥には、つねにこうした哲学・倫理の問題が潜んでいる。この問題に向き合うことなしには、よい社会をつくり、そこで生きることはできない。アリストテレス、ロック、カント、ベンサム、ミル、ロールズ、そしてノーゾックといった古今の哲学者たちは、これらにどう取り組んだのだろうか。彼らの考えを吟味することで、見えてくるものがきっとあるはずだ。ハーバード大学史上空前の履修者数を記録しつづける、超人気講義「Justice(正義)」をもとにした全米ベストセラー。



### 「絵で見る十字軍物語」 塩野七生、ポール・ギュスターヴ・ドレ 著 新潮社

長くイスラム教徒の支配下にあった聖都エルサレム。1095年、その奪還をローマ法王率いるカトリック教会が呼びかける。「神がそれを望んでおられる」のスローガンのもとに結集したのはキリスト教国の七人の領主たち。ここに第一次十字軍が成立した。さまざまな思惑を抱えた彼らは、時に対立し、時に協力し合いながら成長し、難事を乗り越えていく。ビザンチン帝国皇帝との確執、小アジア横断、大都市アンティオキアを巡る攻防…。そしてエルサレムを目指す第一次十字軍の戦いはいかなる結末を見たのか—。

現代にもつながるキリスト教vs. イスラム教、対立の原点。聖地奪還のための遠征はどう始まり、どう戦われ、どう破綻したのか。美しく精緻な版画に付した簡潔な短文で描かれる十字軍史。全3巻からなる「十字軍物語」本編の予告編といべき十字軍の入門書。



### 「天地明察」 冲方丁 著 角川書店

江戸、四代将軍家綱の御代。戦国期の流血と混迷が未だ大きな傷として記憶されているこの時代に、ある「プロジェクト」が立ちあがった。即ち、日本独自の太陽暦を作り上げること。武家と公家、士と農、そして天と地を強靱な絆で結ぶこの計画は、そのまま文治国家として日本が変革を遂げる象徴でもあった。実行者として選ばれたのは渋川春海。碁打ちの名門に生まれながら安穩の日々に倦み、和算に生き甲斐を見いだすこの青年に時の老中・酒井雅楽頭が目をつけた。「お主、退屈でない勝負が望みか？」渋川春海の20年に渡る奮闘、挫折、喜び、そして恋…。日本文化を変えた大いなる計画を、個の成長物語としてみずみずしくも重厚に描き 第31回吉川英治文学新人賞及び2010年度本屋大賞に輝いた、魂をゆさぶる時代小説。



### 「犬部：北里大学獣医学部」 片野ゆか 著 ポプラ社

「犬部」は、行き場を失った犬や猫を救うため奔走する現役獣医学部生の大学サークル。動物だらけのキャンパスライフは、笑い涙の連続で…。青森県十和田でくりひろげられる、実録青春ストーリー。“犬部では、保護した動物に新しい飼い主が決まることを〈卒業〉”といいます。ボロボロの状態で保護された犬や猫が、健康をとりもどして、安心して暮らせる場所を見つける。それは犬部の活動のなかで、一番嬉しい瞬間です。それだけに別れの寂しさは、よりいっそう部員たちの胸に迫ります。…誰に強制されたわけでもないのに、犬や猫の世話を続けている犬部のメンバーたち。ここには、こんなに素晴らしいワカモノたちがいる。”—はじめに



### 「バイバイ、ブラックバード」 伊坂幸太郎 著 双葉社

毎回抽選で選ばれた50名の読者に、1話が書き上がり次第レター形式で印刷された作品が郵便で送られるという、本邦初の試みである「ゆうびん小説」5話に、書き下ろしの最終話が加えられた連作小説集。太宰治の絶筆「グッド・バイ」から、想像を膨らませて創った物語。

「グッド・バイ」は、同時に図書館に入った『「バイバイ、ブラックバード」をより楽しむために』の中に収録されているが、何人もの女性と同時に付き合っていた男が、その関係を清算するために、全く恋愛関係になかった女性の協力を得て、一人ひとりを訪ねて歩くという設定の未完の小説。一方「バイバイ、ブラックバード」は、その設定を生かしつつ、ちょっと変わったキャラクターとそれに振り回される人がいて、登場人物たちの楽しいやりとりがあって、ホロっとさせる所もあり、伊坂ワールド満開の小説となっている。



### 「ゆずり葉」 庄崎隆志、今井絵理子 [ほか] キャスト 全日本ろうあ連盟

ろう者の生活と権利を守る運動の記録映画制作に没頭する中で、最愛の恋人を失った主人公は記録映画の制作を止め、運動からも仲間からも離れ、負い目を背負ったまま生きてきた。時代は移り変わるものの、未だ社会に根強く残る差別と、ろう者を排除している法令。壁にぶつかり希望を叶えることができない若いろう者を救おうと再び盛り上がった運動に、こころを揺さぶられた主人公は弱った体を押して中断していた映画の完成をめざす。そんな中、耳の聞こえない自分に自身を持っていない若いろう者と出会う。そして、そこから奇跡のストーリーが始まる…。東京の下町から横浜の山手へ、“もうひとつの美しい言葉・手話”で織り成す、二つの世代をつなぐハートフル・ストーリー。

## 仙台白百合女子大学の諸姉へ —各白百合OGから—

図書館は、まさに知の泉です。教育や研究を陰で支える大きな働きを担っています。少女時代、私は読書がそれほど好きではありませんでしたが、図書館で静かに時を過ごす時間は、今も懐かしく思い出されます。

今年で私は90歳になりました。父方の叔母2人が白百合（東京）の出身でしたので、父のたつての希望で九段の白百合に入学させられました。白百合の教育はやや古風で在学中は嫌いでしたが、卒業してみるとこんな良い学校は滅多にないと実感されます。仲の良いお友だちとはいまも毎日のように電話で話しています。

九段と同様歴史の古い仙台白百合には、白百合の清純できまじめな共通のイメージで知られています。仙台に大学ができた現在は、この気風が女子大生の気質のなかに受け継がれているのでしょう。

私たちの在学時代、いかに世の中の荒波が打ち寄せようが、白百合は別天地で、のんきに構える傾向がありました。育ちの良いひとが多かったけれど、それをひけらかす人もなく、皆でのんきにやっていました。

クラスメートのお父様がたには、政財界の著名な方が多く、軍人なら大将、中將クラス。芦田均氏や安倍能成さんなど総理や大臣や学者・文人だった方々の娘さんもたくさんおられました。

森鷗外の令嬢、のちに評論家として活躍された小堀杏女さんも白百合でした。私の同級生で大学の法学部に進んだ杉本さんが活躍されましたが、その息子さん海江田万里さんです。

皆さん、本の虫でした。図書館がこうした人たちの生涯の活躍の基礎を培っていたようにさえ思われます。

白百合に学んで一番よかったことはフランス人のマ

スールたちがおられ、フランス語が喋れるようになったことです。叔父（註・碓伊之助画伯）の夫人がフランス人で、フランス語に接する機会があり、それがとても役立ちました。図書館の蔵書にはフランス語の文献や絵本が豊富にありました。

白百合は、小中高校、大学と一貫した校風があり、卒業生は上品でしとやかでしっかりしているとの定評があります。これが私たちの誇りです。仙台白百合女子大学の卒業生の活躍を聞くこともあり、頼もしく思います。（篠崎美根子、1935年、白百合女学校卒）

在学中の思い出といえば、宮地房江先生のことです。宮地先生は、染色の大家でしたが、特に仙台に草木染めを紹介した第一人者でした。図書館にも絵画や染色の作品を数点残しておられますが、蔵王の四季などの大作は見事でした。ホワイエのタペストリーはそうした一連の作品の一つです。

工芸の実技をご指導いただきましたが、人間として、女性として、いかに生きるべきか、人の生き方について教えていただいたことが鮮明です。図書館には、先生のご在任時代に購入された美術のご本がたくさんあります。私は先生に師事し、図書館で図版や資料をたくさん拝見し、染色の基本を覚えました。

恩師たちから私たちが受けた多くの尊いものを、仙台白百合女子大学の学生諸姉に受け継いでいただき、さらに大きく発展させていただくことを祈念します。

※去る10月3日、宮地房江先生は急逝されました。心からのご冥福を祈ります。（千葉洋子、1969年、仙台白百合短期大学卒。本学前助教授）

当時の藤田学長が私たちに言われたことが、記憶に鮮やかです。「学生が社会に出て、一番必要とされることは協調性です。溶け込んでゆこうとする気持ちです。嫌だとか、苦手だと思ったら、自分はこの人が好きだ、と3回心に念じて挨拶してごらんなさい。必ず先方もあなたの心を受け入れてくれるものです」このアドバイスのお蔭で、これまでどれだけ救われたことか知れません。

育つときに育つものを育てないと、ひとは育ち損うという信念が当時の先生方にあったようで、マナーはかなり厳しく指摘をうけました。また、先生のおことば「損得で動くものではない。恥ずかしくない人生を送りなさい、そうすれば道がひらけるはず」も忘れられません。

昔の学生さんたちについては、小さな心づかいを持っていてことをお伝えしたいと思います。例えば、借りた本にはカバーを掛けて読んでいましたし、他の人のことを配慮して、早めに返却するなど奥ゆかしい面があったと懐かしく思い出されます。(高橋成美、1971年、仙台白百合短期大学卒。本学図書館主任)

かつての仙台白百合短大の良さは、とても家庭的だったことです。学生は親しみをもって先生方に相談に伺いました。

恒例だった中庭での運動会にも思い出がたくさんあります。リレーやむかでの競争、バレー、バスケなど数々種目がありましたが、学生も先生方もクラス対抗で燃えたものです。先生方のはりきっておられる様子が印象的です。

毎朝のバイブルサービスは学生主体で行われ、学生の日常もマスールの指導のもと、全体が規律正しい感じでした。しかし、きびしいなかにも家庭的な良さが随処にあり、懐かしく思い出されます。(高澤まき子、1976年、仙台白百合短期大学卒。本学准教授)



#### ◆ 編集後記 ◆

リーマンショックによる世界的な経済危機は、日本にも大きな影響を及ぼした。特に雇用環境の悪化は、学生の就職率を大きく下げる結果をもたらした。本学の就職率は、関係者の努力により他大学よりは高率を維持しているものの、少なからず影響を受けていることは否めない状況にある。厳しい状況にある就職戦線を本学の学生が乗り越えて、無事社会へと巣立って欲しいと考える。

図書館も学生の就職への準備に利用できるアイテムがいくつかある。その一つが本学図書館事務室の前にある雑誌の棚である。「AERA」「就職ジャーナル」など様々な種類の学会の専門誌とは別の雑誌が用意されている。また、雑誌は2階3階にも用意されているのでホームページを参照して頂きたい。

図書館は、知識を深める場であると同時に知識を広げる場でもある。図書館利用者が、多面的に活用できる図書館として、研究や勉学の合間の気分転換に積極的な雑誌の活用を願っている。  
(大坂)

4月に図書館のホームページをリニューアルしました。それまでの画面と比べて、ボタン等分かり易く改訂したつもりですがいかがでしょうか。図書館検索ツアーでホームページの使い方をご案内するのですが、どんなことができるかわからない方も多いと思いますので、前号の特集「ホームページからできること」を参考に、いろいろと触ってみていただけたらと思います。なお、今までの図書館報は、PDF形式でホームページに載っており、各号の「図書館からの情報」では利用する上で役立つ特集を組んでおりますので、そちらもご覧いただき、さらにご活用下さい。

今回の特集では、図書館を利用して戸惑うことが多いような事例をまとめてみました。自動貸出機で図書を借りる際の留意点や実習・卒論貸出についてなどです。

利用上分からない点や、ホームページや図書館報についての感想などございましたら、気軽に図書館スタッフにお声がけ下さい。  
(生出)